

2020.8.6

記録に残るような遅い梅雨が明けたと思ったら暦の上では明日は立秋、残暑に苦しめられる毎日が続きそうです。

ようやく前期の授業も終わりになりますが、学事日程の変更やオンライン授業の導入、今までにない質と量の学生支援など、多くの緊急な対応をお願いし、通常以上に多くのご負担をおかけしました。本当にありがとうございます。

今日は、前期を終え後期に備えるにあたり、三つのお願いをしたいと思います。

【新型コロナウイルス感染者の情報】

ホームページでも公表したように、本学の1名の学生がPCR検査陽性という連絡を8/3日に保健所から受けました。独自の判断で、関係すると思われる施設設備の消毒や関連する研究室の閉鎖・自宅待機を早急に行っています。また学内の濃厚接触者もPCR検査陰性であり、保健所の判断として、学内の感染拡大の可能性は小さいと伝えられ一安心しております。ただ、構成員の感染は今後も皆無とは言えません。ぜひとも三密防止等の対策を十分にとっていただきたいと思います。

また、患者さんやご家族の方々が、いわれのない差別や偏見、興味本位の患者探しなどで、心を痛める場合があると報道で見聞きします。申すまでもありませんが、すべての方々の人権を尊重する良識の府、大学において、決してそのようなことがないよう、理性的な行動をお願いいたします。

【後期の授業】

学生や教職員がオンキャンパスの対面授業を強く望んでいることは当然のことです。ただし、後期の授業を全面的に対面授業とすることは考えにくく、引き続き原則オンライン授業としつつ部分的に実験・実習を中心とする対面授業を実施する可能性が高いと思います。

一方で、オンライン授業を前向きに捉えることも必要です。高等教育のニューノーマルに向けて、オンライン授業とオンキャンパス（の対面）授業をうまく組み合わせた反転授業やハイブリッド授業など、教育先進国に比べて日本が遅れていた新しい授業スタイルへの挑戦が多くの大学で始まっています。現在、オンライン授業に対する学生アンケートを整理しながら、より魅力的な授業にするための提案を整理しています。ご苦労が多いことは十分に承知していますが、他大学に後れを取ることなく、質の高い効果的な教育の実現をめざして、引き続きご協力のほどお願いいたします。

なお、こうしたオンライン授業の準備や実施については、想定されなかった経費が必要となると思われ、総額で2500万円規模の教育経費を、学長裁量経費から各学部・研究科に配分する予定です。

【学生に寄り添う】

先生方のご苦労もあって、本学としての教育の質は担保できていると思っておりますが、心配なのは学生のメンタル面です。

経済的困難が増す学生に対しては、十分とは言えませんが、400名弱に対する独自奨学金の支給など、規模を考慮すれば他大学以上の支援ができたと思っております。また、後期に向けても再度の奨学金支給の準備も進めており、そこでは全学1/3の教職員の方々からいただいた“緊急学生支援基金”のご寄付（みなさん、ありがとうございました）も使わせていただこうと思っております。

ただ、一方で気になるのが、学生のメンタル状態で、特に心配なのが一年生です。楽しいキャンパスライフや将来の夢を思い描きながら受験勉強にも励んできたのに、入学したらパソコンの画面に向

かう毎日。自分の選んだ進路への疑問、向学心の低下、夢の喪失など、さまざまな状態に陥ってしまうことを危惧しています。

そこで、少しでも一年生を癒す助けになればと、上級生によるピアサポーター制度を導入しました。オンライン上の会話ではあるけれど、生の大学の世界が垣間見られ、あるいは先輩風をふかしながら学年を超えた人間関係を作っていける“お茶飲み会”。そんな理想を描いて作っていただきました。ただ、その実態はばらばらで、うまく機能していないところもあるようです。

後期もオンライン授業が基本となれば、こうしたメンタル面でのサポートは一層必要になります。ピアサポーター制度もそのための“はじめの一步”ですが、現場の先生方・学生の皆さんの視点でどんどん中身を変えていって、より実質的なサポートができるようにしていただきたいと思います。オンラインとオンキャンパスのハイブリッドなホームルームなんていうものもありますし、それなら2年生、3年生をサポートするうえでも有効かもしれません。こうしたサポートについて、昨日の部局長連絡協議会でも、それぞれの部局等に合わせた形を考えていただくようお願いしたところです。

“学生に寄り添い、誰一人取り残さない。”そんな思いを共有しながら学生の支援をお願いしたいと強く思っています。

前期は本当にごくろうさまでした。明後日からは17日まで10日間の長期夏季休暇です。やり残した仕事もありフルには休めない方もいらっしゃるかと思いますが、学長の“ウザい”話は頭の片隅に追いやり、しっかりと休養を取り、安らいだ時間をお過ごしください。